

シムエラー 指差呼称編

「指差呼称効果体感ソフト」

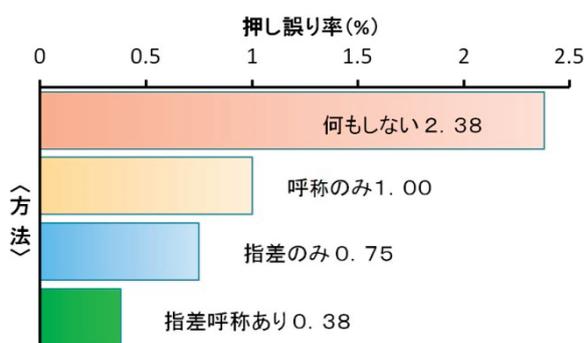
【概要】

近年、工場やプラントなどの作業現場、医療の現場など、さまざまな業種で、エラー防止のため指差呼称が実施されておりますが、その効果・必要性の感じにくさにより、有効に実施されていないケースが見られます。指差呼称効果体感ソフトは、普段実感しにくい指差呼称のエラー防止効果を実際に体感し、基本動作の重要性の理解を深めるためのものです。



現場における指差呼称のようす

(左上:鉄道運転現場、右上:バス運転現場、左下:プラント現場、右下:医療現場)



誤り率に対する指差呼称の効果

指差呼称が有効に実施されていない理由

	理由	人数
1	作業が単純で、熟知している	87名
2	指差呼称しなくても失敗しないこと	63名
3	急いでいる	28名
4	面倒	21名
5	注意がおろそかになっていた	20名

* 運転士研修中の車掌295名
(複数回答可: 1人当たり平均1.46個回答)

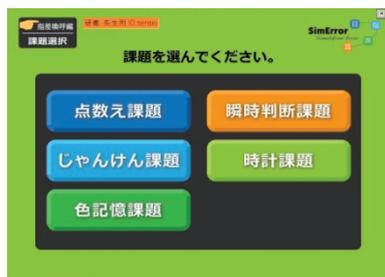
【特徴】

パソコン上で、下記のようなエラー防止効果を体感できます。

体感できる効果	課題	要素
視線が向きやすくなります	点数え	指差
行動する前に一呼吸おけます	じゃんけん	〃
記憶が強化されます	色記憶	呼称
エラーに気づきやすくなります	瞬時判断	〃
覚醒が維持されます	時計	指差呼称

【用途】

- ・指差呼称に関連する「社内の安全研修」にご使用いただけます。
- ・個人でも、指差呼称によるエラー防止効果を「自主学习」することができます。



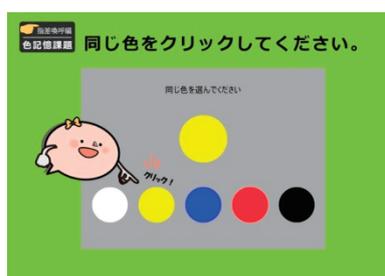
メニュー画面



点数え課題〔指差〕



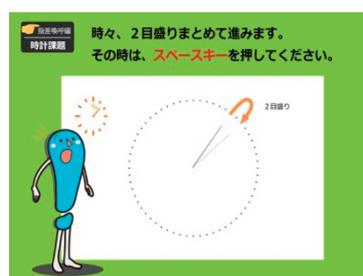
じゃんけん課題〔指差〕



色記憶課題〔呼称〕



瞬時判断課題〔呼称〕



時計課題〔指差呼称〕

メニューおよび5課題の画面表示

特許第4937946号



株式会社 テス 営業部
TEL 042-573-7897